



くらぼよとは、
Collaboration
コラボレーション
(共同、協働)と
~しようよ!の組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しよう

第26号 2013・秋

「親子で学ぶ 防災・減災セミナー」に参加して・・・

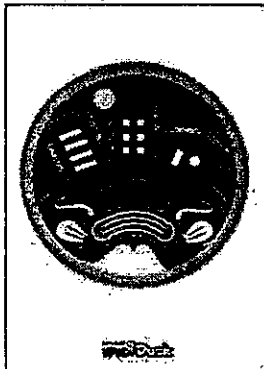
いつ何が起るかわからない時代に、防災・減災は大切なテーマだと思い、夏休みに入ったばかりの7月20日に小4の孫と参加しました。他には、お父さんと子どものペアや家族連れなど、いろいろな組み合わせで参加されていました。「親子で学ぶ」セミナーなので参加者の約半分は子どものため、図を使った講義と実技が多く、大変解り易く、楽しく学べました。

いざという時、まずは自分の身を守らなくてはなりません。その為の行動を動物のポーズで例えて覚えるゲームをしました。

次に、「非常持ち出し品」をリュックにつめました。各自必要と思うものをカードで選んで、重さを計算してもらい、実際にその重さのリュックを背負うのです。みなさん、わいわい言いながらあれもこれもと選んでいきました。飲料から薬・衣類・食料どれを見ても必要な物ばかりですが、持てる限度があると悩みに悩み、最小限にしぼったところその重さは、14.7kg。孫はゲーム機も入れ11.9kgに。とてもじゃないけどそれだけのリュックを背負って避難所まで行けません。「あまり欲張りすぎないことが大切です。重さの目安は男性で15kg、女性で10kg程度、食料品は賞味期限をチェックして日頃からリュックなどにまとめておきましょう」という事でした。最後に新聞紙や折り込み広告を使って、「おわん・コップ・皿」などを作りました。

「いざ」という時はない方がいいに決まっていますが、備えは必要だと思いました。孫とも日頃とは違う会話ができて有意義な体験でした。

① 地震



動物:ダック



じしんのときは…「ダック」のポーズ
※両手を頭に乗せながらかがみ込む
メッセージ: まずあたまをまもろう。

～ポーズで覚えよう!～

地震・津波・火事・台風・洪水・雷にそなえて…

「防災・減災カードゲーム」のご紹介

「ほうさいダック」とは、安全・安心の「最初の第一歩(ファーストムーヴ)」を、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。

子どもたちが、楽しみながら繰り返しゲームをするうちに安全・安心への「最初の第一歩」が自然と身につくようにつくられています。カードは全部で12種類あります。

使い方は、子ども達に、表面の災害の絵を見せ、裏面に描かれている正しいポーズを当ててもらい、覚えてもらいます。

<内容・購入に関するお問い合わせ>

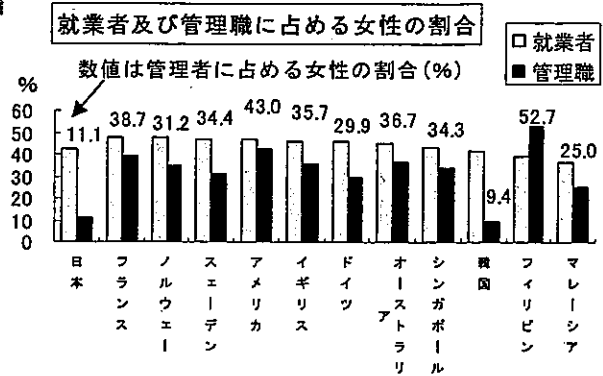
一般社団法人 日本損害保険協会 TEL:03-3255-1294
カードゲーム(B4判) 12種類入り1000円 解説DVD 1,890円

もっと女性管理職を

安倍政権になり、厚生労働省に村木厚子さん事務次官が就任。首相は指導的地位に占める女性の割合を、2020年までに30%程度にと、「女性の活躍」の推進を明確に打ち出しています。女性管理職の現状と課題を探ります。

女性管理職の現状は？

内閣府の『2013年版男女共同参画白書』によると、2012年に全就業者に占める女性の割合は42.3%であり、海外の主要国と比べて大きな差は見られませんが、女性の管理職比率は11.1%で、比較した12カ国のうち韓国の9.4%に次いで2番目に低い水準となっています。



なぜ少ないのか？

「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」という考え方（性別役割分担意識）が強く、企業も女性を「結婚や出産を機会に辞める」ととらえがちで、育児休業や復職のための制度整備が欧米に比べ遅れています。多くの企業がコース制を用いて最初から多くの女性を管理職候補から外しているの、育児などを契機に将来性を見切りをつけ離職する人もいます。また、企業の上層部が優秀な女性を将来のトップ候補として育てておらず、キャリアを積む機会を与えていません。一部の男性社員や顧客が女性を管理職にすることを望んでいないケースもあるでしょう。長時間労働・転勤など、働き続ける環境も整っておらず、出産を機に6~7割が退職しています。役員になるまでにいなくなってしまう

わけです。又、手本となる人がいないことも問題です。保育所不足も女性の復職の足かせになっています。

どうすれば増加する？

ある大手証券会社では、育児休業の延長や保育施設利用費の補助、短時間勤務制度などの支援で出産による退職が激減。女性管理職比率は06年度の2.9%から12年度に4.8%に上昇しました。生え抜き女性役員も09年に4人、11年には1人誕生しました。女性管理職が普通にいて、出産や子育てを経験した支店長もいるので、お手本が増えて働きやすくなったと好評です。又、女性登用の数値目標を掲げる企業も増えてきています。

国際競争で生き残るには、優秀な人材の確保が欠かせません。女性を排除して半分の人口から選ぶより、男女を問わず優れた人を求めるほうが合理的です。一定の割合で女性の役員を割り当てる「クォータ制」、1人当たりの労働時間を減らしながら雇用を確保する「ワークシェアリング」、パートとフルタイムで時給や待遇に差をつけることを禁じる法律などで成功している欧州の例が参考になるでしょう。家庭と仕事を両立できる環境を整えたり、企業に登用計画を義務付ける、女性役員がいることを公共事業の発注の条件にする、開示義務を課すなども効果がありそうです。そして家庭においても性別役割分担意識を払拭し、協力し合って生活することが大切です。

女性管理職が増えると...

女性役員が増えれば、男女を問わず優秀な人材を登用する企業風土が生まれます。またこの流れは、その他の分野の指導的な立場の女性達にも影響を与えるでしょう。そして、次世代の女性達への目標になり、より良い連鎖が生まれます。男女それぞれが個性や能力を生かし、自分らしくいきいきと生きていける社会がいいですね。



★ ころぼーよフェスタ ★

～ことばとコミュニケーション～ 9月14日開催



♪小巻 健さんによる ギター演奏♪

私たちのなじみのある曲や、今話題の曲などを演奏していただきました。繊細で静かなメロディが会場に流れて、心地の良い気持ちになりました。



萩本市長挨拶

「これからの高齢化社会では、地域経済や社会活動で女性の役割が大きくなります。男女が互いに違いを認めつつ、絆を深めながら、力を発揮して行きましょう」



声と言葉で心に響く話し方

～声と話し方が変われば運命が変わる～

講師 川邊 暁美さん

川邊さんは高校生の時に自分の声にコンプレックスがあったそうです。しかし、音楽のテストで、先生から「個性的な声だね」と言われたことがきっかけで気持ちが吹っ切れ合唱部に入り、その後アナウンサーになる夢も実現でき、その延長に現在の自分があると話されました。

コミュニケーションは「キャッチボール」、その極意は、こちらから、笑顔で、明るい声で、相手に届けること。その際には、思いやりのある一言を添えるのも効果的だとか。そのために聴衆の皆さんと一緒に「ハッピー、ラッキー、大好き！」の笑顔をつくるための魔法の呪文を練習しました。

また、思いを伝えるには、テーマをはっきりさせて、的確な短い言葉で、聴き手の反応を見ながら、明るい声で話すのも大切だそうです。

「心と言葉の感性を磨くには、自分の声や話し方を意識したり、自分の心に響く言葉をメモすることによって言葉の引き出しをたくさん作りましょう。でも何より、いつも自分の大切な人に話すつもりで、人と話すことを忘れずに」との言葉に皆さん大きくうなずいておられました。

「一般的に女性は、外でしっかりと自分の意見を言う機会が少ないけれども、トレーニングと経験を積むことによって、スキルアップできる。反対に男性は会社等での経験は豊富だが、本音を言うことが苦手で、家族とのコミュニケーションに悩む人が多いのが現状です。しかし、男女ともに話し方を学ぶことで、自分を変えていくことができます」のお話に、私たちも話し方を見直して、相手の心に響く話し方を心がけようと思いました。



あなたは女性に対してどのような政策を望みますか？

少子高齢化の現在、クローズアップされるのは、保育施設の増設による待機児童の解消や、男性の育児休暇取得の奨励などです。

しかし未婚の男女が増え、離婚率が上昇するなど、女性の生き方も多様化しています。女性のライフサイクルを考えたとき、どんな政策や制度が必要でしょうか。

安心して子ども達が放課後過ごせる場所がほしい、希望があれば、非常勤でなく正規雇用の採用を増やしてほしい、同一労働に対しては男女同一の賃金を実現してほしい、高齢になっても障がいを抱えていても、社会とかわわりを続けられる仕事がほしい等々。その実現には、個人的な努力はもちろんですが、先ず私たちが身の回りに起きていることに関心を持ち、新聞、議会だより、広報を読み、自分達の問題を明らかにし、ゆっくりでも意見を届けることが大切ではないでしょうか。

猫のようにのんびりと、しかし目を光らせてしっかりと。

